

企業競争力向上のためのポートフォリオ・マネジメントとキャッシュ創出力 セミナーを開催

開催日：2019年9月6日（金）	場 所：経団連会館
来 賓：マッキンゼー・アンド・カンパニー	
ピーター・ケネバン	シニアパートナー
アンディ・ウエスト	シニアパートナー
クリス・ブラッドリー	シニアパートナー
フランク・チュウ	パートナー
野崎 大輔	パートナー
細谷 仁詩	準パートナー

経済広報センターは9月6日、世界的なコンサルティングファームであるマッキンゼー・アンド・カンパニーの経営戦略の専門家6名を招き、企業競争力向上のためのポートフォリオ・マネジメントとキャッシュ創出力について、国内外の最新状況や今後の展望を交えて説明を聞くセミナーを開催した。

まず、ポートフォリオ・マネジメントの強化について、「動き続ける」「トレンドを追う」「プログラマティックに買収を実施する」「M&Aにより小さい事業領域を拡大する」、そして「追い詰められたらさらなる積極策に打って出る」という5つのポイントを過去統計からの学びとして紹介した。

続いて、グローバル・ベストプラクティスとして、キャッシュを競争優位性に変えるためにキャッシュ文化の醸成からスタートすることが重要であると説く一方、日本企業の場合、運転資本の著しい増加がROIC（投下資本利益率）やキャッシュフローの創出を阻害している現状を説明。これを踏まえ、資本コストを考慮した事業運営の強化が必要であるとし、運転資本の使い方の見直しが、投資資金の捻出のみならず、財務視点でのビジネスプロセスやサプライチェーンの構造的な改革への切り口となると説明した。



クリス・ブラッドリー シニアパートナー

質疑応答では、日本でも活動が活発になっているアクティビストへの対応に焦点が当てられ、日本企業が狙われやすくなっている現状において、最適な防衛策はポートフォリオの適正化であり、ポートフォリオ・マネジメントの考えを企業活動に落とし込んでいくことが重要であると結んだ。

以 上